



学校だより 第11号

菩

提

樹

平成28年3月

高岡市立東五位小学校



「ありがとう」

校長 吉田 茂

桃の節句も過ぎ、春告鳥の声が聞こえてくる頃になりました。平成27年度も残りわずかとなり、まもなく6年生50名が、東五位小学校の卒業生として巣立っていきます。

小学校では、6年生と下級生の新旧交接待行事、そして、卒業を祝うお別れの行事が進行し、3月17日の卒業式に向けて、みんなの気持ちが高まっています。

<交通少年団入退団式>



6年生の皆さん、2年間の活動ありがとうございました。

新しい交通少年団も、黄色いスカーフに込められた

「事故のない東五位」という願いを自覚し、活動に励みます。

<委員会引継式>



6年生が工夫して取り組んできた委員会活動が、下級生に引き継がれました。

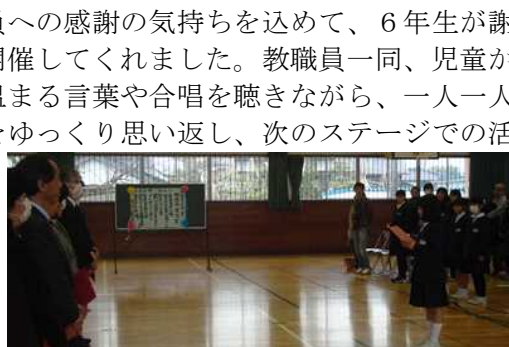
自分から取り組んだこと、人の役に立とうと頑張ったことは、大切な力となり、これからの日々を支えてくれることでしょう。

<卒業を祝う会>



卒業する6年生の皆さんに「ありがとう」の感謝の気持ちを込めて、下級生が精一杯お祝いする集会が開かれました。下級生からの思いを温かく受け止める笑顔と元気いっぱいの集会になりました。

<謝恩式>



教職員への感謝の気持ちを込めて、6年生が謝恩式を開催してくれました。教職員一同、児童からの心温まる言葉や合唱を聴きながら、一人一人の足跡をゆっくり思い返し、次のステージでの活躍を心から願いました。

上記の行事で一番よく聞かれた言葉は、「**ありがとう**」という言葉です。4月の始業式で、3つの幸せ➡「できる幸せ」「してもらふ幸せ」「してあげる幸せ」の話をしました。これらの**幸せをつなぐ言葉が「ありがとう」**だと思います。誰かのために「してあげた」人に対し、「してもらって」できるようになった、助かったなどの気持ちを誠実に伝える言葉が、「ありがとう」です。この言葉は一種“魔法の言葉”で、言う人も言われた人も「満足感」や「人とつながっている実感」を味わい、“幸福感”が何倍にもなるのです。そして、この幸福感を多く味わえる人は、チャレンジ精神を高め、より前向きな態度や行動、さらには生き方にまでつながるという好循環になるそうです。

「ありがとう」➡「有り難し」つまり、普通ではしてもらえないような行為、当たり前ではないという意味ですから、相手の行いに対し気持ちを込めて「ありがとう」と伝えたいものだと思います。終わりにになりましたが、この一年間、東五位小学校に温かいご協力ご支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

